

シビル メール ニュース

これまでに配信されましたシビルメールニュースは、「日本大学理工学部土木工学科」のホームページ (<http://www.civil.cst.nihon-u.ac.jp>)より『OB向け情報』→『シビルメールニュース』でご覧いただけます。
 なお、シビルメールニュースをE-mailにて配信ご希望の方または郵送を希望される方は、卒業年次・氏名・勤務先・配信メールアドレスを明記の上、mailnews@civil.cst.nihon-u.ac.jpで申し込み下さい。

発行責任者 土木工学科教授・教室主任 岸井隆幸

駿河台入試フォーラム開催される

7月20日(日)に日本大学理工学部の受験を希望する高校生に対するCSTオープンキャンパス駿河台入試フォーラムが駿河台校舎にて開催されました。当日は、午前11時から1号館CSTホールにて、学部長による歓迎の挨拶をはじめとした学部全体のオリエンテーションが行われ、その後、それぞれ2~5階の教室において各学科がブースを設けて学科紹介を行いました。土木工学科のブースには、47校、延べ103名ほどの高校生が訪れ、多くの高校生が土木の実験装置を直接手にして熱心に見学していました。土木工学科では、ミニ講義、学科紹介パネル、相談コーナー、ミニ実験コーナーを設置して、土木工学科の紹介を行いました。ミニ実験コーナーでは「水理」「地盤」「環境」「風」の4つの分野で先生方と大学院生がそれぞれ説明を行いました。

ミニ講義では、鈴木順一准教授が「シビルエンジニアの取り組み」と題し、松島眸教授が「湖沼の水環境を守りましょう！」と題して行われました。



ミニ実験コーナーの様子



松島先生のミニ講義の様子



相談コーナーの様子

CSTオープンキャンパス開催

8月2日(土)・3日(日)、船橋校舎において、CSTオープンキャンパスが開催されました。オープンキャンパスは、高校生に向けて大学を紹介する最大のイベントであり、今年度から2日間行われることになりました。船橋校舎全体を使い、各学科がブースを設け、午前10時から午後4時まで学科紹介を行いました。土木工学科のブースは14号館の2階、1428・1429製図室に設置し、学科紹介を行いました。ブースにはミニ実験コーナーを設置し、14研究室から両日共に50名以上の学部生、大学院生が参加し、それぞれの研究室の先生や学生が展示モデルや実験装置を使って、研究内容について解りやすく高校生に説明を行いました。さらに、学科全般を紹介したパネルや相談コーナーも設置し、土木工学科についての理解を深めてもらうと共に、日大土木の魅力を紹介致しました。2日(土)には370名、3日(日)には150名の高校生が来場し、各ブースの展示物や実験を見て体験し、さらに現役の大学生、大学院生、教員と直接話し、土木について理解を深めていました。

14号館4階の1449教室ではミニ講義が行われました。ミニ講義は、野村卓史教授の「竜巻の威力と対策」、羽柴秀樹准教授の「地球観測衛星から観た環境・災害最前線」、岸井隆幸教授の「都市環境デザインー都市計画は土木の世界ー」、鎌尾彰司准教授の「ピサの斜塔の秘密ー構造物を支える地盤ー」の順で行われました。それぞれ多数の高校生が参加し、熱心に聴講していました。



高校生に説明をする大学院生



土木工学科ブースの様子



羽柴先生のミニ講義の様子



鎌尾先生のミニ講義の様子

平成 21 年度公務員一次試験結果発表

平成 21 年度の公務員試験が 4 月から 6 月にかけて各地で行われ、一次試験結果が発表されました。7 月 19 日現在で土木工学科の学生は下表のように延べ 129 人合格しております。

公務員試験 1 次合格者内訳

国家Ⅰ種	3名	横浜市	9名
国家Ⅱ種	14名	さいたま市	7名
防衛省	2名	川崎市	5名
労働基準監督官	1名	新潟市	3名
東京消防庁	2名	名古屋市	2名
特別区	44名	広島市	2名
東京都	6名	札幌市	1名
埼玉県	4名	静岡市	1名
茨城県	3名	福岡市	1名
神奈川県	3名	船橋市	6名
秋田県	1名	武蔵野市	2名
千葉県	1名	八王子市	1名
福島県	1名	松戸市	1名
山梨県	1名	大井町	1名
山形県	1名		

計 129 名（重複、過年度生を含む）

平成 20 年度前期授業が終了

7 月 18 日に学部・大学院の前期授業が終了いたしました。この後、7 月 22 日～8 月 4 日に前期定期試験が行われ、8 月 5 日から夏季休暇が始まりました。夏季休暇を前にして、学生達は前期のラストスパートをかけていました。夏季休暇は 8 月 5 日～9 月 28 日までの約 2 ヶ月間で、学生達はこの長期休暇を利用して、勉学に励んだり、趣味に費やしたり、海外に旅行をしたり、と有意義に過ごすようです。4 年生は、卒業研究や就職活動といった人生の大きな岐路を迎えた夏になり、さらに気持ちを引き締めて望むようです。

後援会役員会・総会が開催

6 月 28 日(土)に船橋校舎にて、後援会役員会・総会が行われました。また、父母面談や懇談会が行われました。父母面談では、父兄に個別に学生の成績や、出席状況、授業態度といった学校生活の状況をお伝えし、学生の今後や、今現在の状況について話し合いました。後援会・総会では新しい役員が決まるなど、次期に向けて大きく動き出しました。懇談会では、普段はあまり交流のない父母の方々と先生方が交流をし、意見の交換や、談話に花を咲かせていました。

卒業アルバムを探しています！

本年5月号のシビルメールニュースでもご報告させていただきましたが、日大理工土木が設立され2010年で90周年を迎えます。その記念誌を作成すべく準備に取りかかったところです。記念誌は、卒業アルバムなどを参考にしながら作成していく予定ですが、下記の年次の卒業アルバムが大学に見当たりません。もしお持ちの方で、寄贈、ないしお貸しいただける方は、記念誌担当大沢までご連絡いただければ幸いです。

土木事務室 電話 03-3259-0679 FAX03-3239-3319

e-mail moosawa@civil.cst.nihon-u.ac.jp

卒業アルバム

卒業年(西暦)	年度(和暦)	有無	卒業年(西暦)	年度(和暦)	有無	卒業年(西暦)	年度(和暦)	有無
1920年	-	-	1951年 3月	昭和25年度		1981年 3月	昭和55年度	○
1921年 3月	大正9年度	-	1952年 3月	昭和26年度		1982年 3月	昭和56年度	○
1922年 3月	大正10年度		1953年 3月	昭和27年度		1983年 3月	昭和57年度	
1923年 3月	大正11年度		1954年 3月	昭和28年度		1984年 3月	昭和58年度	
1924年 3月	大正12年度		1955年 3月	昭和29年度		1985年 3月	昭和59年度	○
1925年 3月	大正13年度		1956年 3月	昭和30年度	○	1986年 3月	昭和60年度	○
1926年 3月	大正14年度		1957年 3月	昭和31年度		1987年 3月	昭和61年度	○
1927年 3月	大正15年度		1958年 3月	昭和32年度	○	1988年 3月	昭和62年度	
1928年 3月	昭和2年度		1959年 3月	昭和33年度	○	1989年 3月	昭和63年度	○
1929年 3月	昭和3年度		1960年 3月	昭和34年度	○	1990年 3月	平成元年度	○
1930年 3月	昭和4年度		1961年 3月	昭和35年度	○	1991年 3月	平成2年度	○
1931年 3月	昭和5年度		1962年 3月	昭和36年度		1992年 3月	平成3年度	○
1932年 3月	昭和6年度		1963年 3月	昭和37年度		1993年 3月	平成4年度	○
1933年 3月	昭和7年度		1964年 3月	昭和38年度		1994年 3月	平成5年度	○
1934年 3月	昭和8年度		1965年 3月	昭和39年度		1995年 3月	平成6年度	○
1935年 3月	昭和9年度		1966年 3月	昭和40年度	○	1996年 3月	平成7年度	○
1936年 3月	昭和10年度		1967年 3月	昭和41年度		1997年 3月	平成8年度	○
1937年 3月	昭和11年度		1968年 3月	昭和42年度	○	1998年 3月	平成9年度	
1938年 3月	昭和12年度		1969年 3月	昭和43年度	○	1999年 3月	平成10年度	○
1939年 3月	昭和13年度	○	1970年 3月	昭和44年度		2000年 3月	平成11年度	○
1940年 3月	昭和14年度		1971年 3月	昭和45年度		2001年 3月	平成12年度	○
1941年 3月	昭和15年度		1972年 3月	昭和46年度		2002年 3月	平成13年度	○
1942年 3月	昭和16年度		1973年 3月	昭和47年度		2003年 3月	平成14年度	○
1943年 3月	昭和17年度		1974年 3月	昭和48年度		2004年 3月	平成15年度	○
1944年 3月	昭和18年度		1975年 3月	昭和49年度	○	2005年 3月	平成16年度	○
1945年 3月	昭和19年度		1976年 3月	昭和50年度		2006年 3月	平成17年度	○
1946年 3月	昭和20年度		1977年 3月	昭和51年度	○	2007年 3月	平成18年度	○
1947年 3月	昭和21年度		1978年 3月	昭和52年度		2008年 3月	平成19年度	○
1948年 3月	昭和22年度		1979年 3月	昭和53年度				
1949年 3月	昭和23年度		1980年 3月	昭和54年度				
1950年 3月	昭和24年度	○						

※○は、卒業アルバムあり 空欄は卒業アルバムなし

有限要素法による流れ解析に関する講習会開催

8月6日から8日にかけて、駿河台1号館 CST ホールで日本計算工学会主催の講習会「サマースクール 有限要素法による流れ解析の基礎と応用」が開催されました。この講習会は野村卓史教授が共同編集者を務めた教科書「続・有限要素法による流れのシミュレーション」の刊行に合わせて5年ぶりに開催したものです。講師陣にはこの分野の世界的権威である T. J. R. Hughes 教授 (Texas 大学) と T. E. Tezduyar 教授 (Rice 大学) が加わっています。聴講者数は120人を数え、大盛況でした。野村教授は3日目に「乱流の基礎」を講義しました。また、長谷部寛助手と風工学研究室の学生が会場の運営を担当しました。



講習会場の様子

最近の教員活躍状況



野村卓史教授が7月20日から24日にかけてイタリア・ミラノのミラノ工科大学 Bovisa キャンパスで開催された国際会議、BBAA VI (第6回 International Colloquium on Bluff Body Aerodynamics & Applications) に参加し、「前縁からの脈動噴流によって振動が抑制された角柱まわりの気流の特性」と題する研究論文の発表を行いました。この国際会議は、橋やビルなど、流線型でない形状の物体の空気力学をテーマとするもので、4年ごとに開催されています。ミラノ工科大学が誇る、風路幅14m、風路高さ4mの巨大風洞の見学も行いました。

また、7月29日に福井県敦賀市で突風が吹き、イベント用大型テントが吹き飛ばされて、これを抑えようとした人が死亡しました。この事故に関して野村卓史教授はTBSテレビの取材を研究室で受け、最近竜巻や突風による被害が増えていること、テントに作用したと思われる風の力の大きさ、突風に関する最近の研究などを解説しました。野村教授のコメントは、翌30日午前11時に始まった情報番組「ピンポン」の中で放映されました。



徳江俊秀教授、鎌尾彰司准教授、小林義和専任講師、重村智助手が7月8日～12日に第43回地盤工学研究発表会に参加しました。

この中で、徳江教授と重村助手は連名で「破壊面形成におけるクーロン、モール・クーロン則の役割」と題し発表、小林専任講師は「粒子法と有限要素法の混合法による液状化地盤中の埋設構造物を対象とした浮上解析」と題して発表を行いました。

また、小林専任講師は「地盤と構造物-動的問題 抗土圧構造物」のセッションで座長も務めました。



大沢昌玄助手が九州大学にて開催された、土木学会第28回土木史研究発表会において、昨年度大学院を修了した西村悠典さんと共に、「関東大震災における避難行動と避難場所の分析」を発表いたしました。朝一番のセッションにもかかわらず、多くの方が参加し、積極的に議論が交わされました。



島崎敏一教授、後藤浩専任講師が、平成20年9月17日～19日に名古屋ポートビルにて開催された第21回日本沿岸域学会全国大会に出席しました。島崎教授は、セッション「沿岸域の利用(3)」にて指定討論者を行いました。後藤専任講師は、口頭発表を2件行い、セッション「萌芽的研究(2)」の座長を務めました。



岸井隆幸教授が、土木学会の役員である理事(調査研究、企画担当)に就任しました。

CIVIL EXPO 2008 写真展作品公募のお知らせ

CIVIL EXPO2008 実行委員会

11月1, 2, 3日の学園祭にて開催される「CIVIL EXPO 2008」において写真展を開催いたします。つきましては以下の要領で展示写真を公募いたしますので、是非OBの皆様のお応募をお待ちしております。以下のEメールアドレスに画像を添付し、本文に卒業年次・氏名・勤務先・撮影場所・構造物の名称を記載の上、送信してください。

Eメールアドレス : civil_photo_2008@yahoo.co.jp

<写真の条件>

- ・「土木」に関する写真であること
- ・デジタルカメラで撮影されたもの

*優秀な作品には2009年度土木工学科パンフレットやカレンダー等に使用させていただきます。応募作品はカラー印刷の上、展示し希望者には返却致します。携帯電話などで撮影された解像度が低いものは受け付けられない可能性があります。フィルムカメラで撮影されたものはスキャンしデジタルデータにしていなければ構いません。たくさんのご応募お待ちしております。